



近畿における

令和6年産うめ収穫量等の概要 (和歌山県)

農林水産省
近畿農政局統計部
令和6年11月26日

ー 収穫量は、大幅に減少したものの全国1位 ー

この資料は、農林水産省大臣官房統計部が公表した「作物統計調査 令和6年産びわ、おうとう、うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量」のうち、和歌山県のうめに関連するデータの概要をまとめたものである。
なお、令和6年産の数値は概数値であり、確定した詳細な数値は農林水産省ホームページに掲載する。

調査結果

表 令和6年産うめの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

区 分	結 果 樹 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹面積	10 a 当たり収量	収 穫 量	出 荷 量
和 歌 山	ha 4,790	kg 620	t 29,700	t 28,700	% 99	% 49	% 49	% 49

和歌山県のうめの結果樹面積は、4,790ha
で前年産に比べ1%減少した。

収穫量は2万9,700t、出荷量は2万8,700tで、前年産に比べそれぞれ51%減少した。

これは、開花前の気温が高かったことから開花が早まり、受精不良となって着果数が減少したこと等による。

なお、全国の収穫量に占める割合は58%
(前年産64%)で全国1位であった。

図1 うめの都道府県別収穫量割合

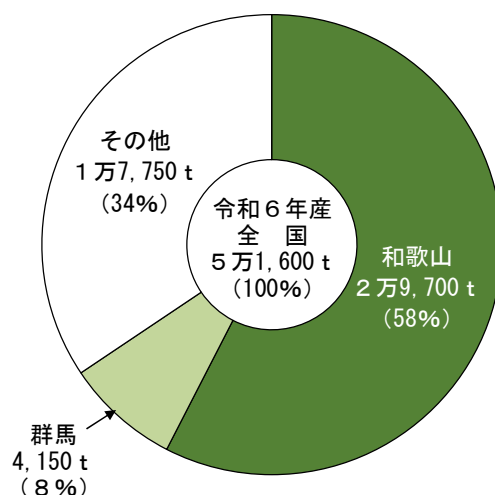
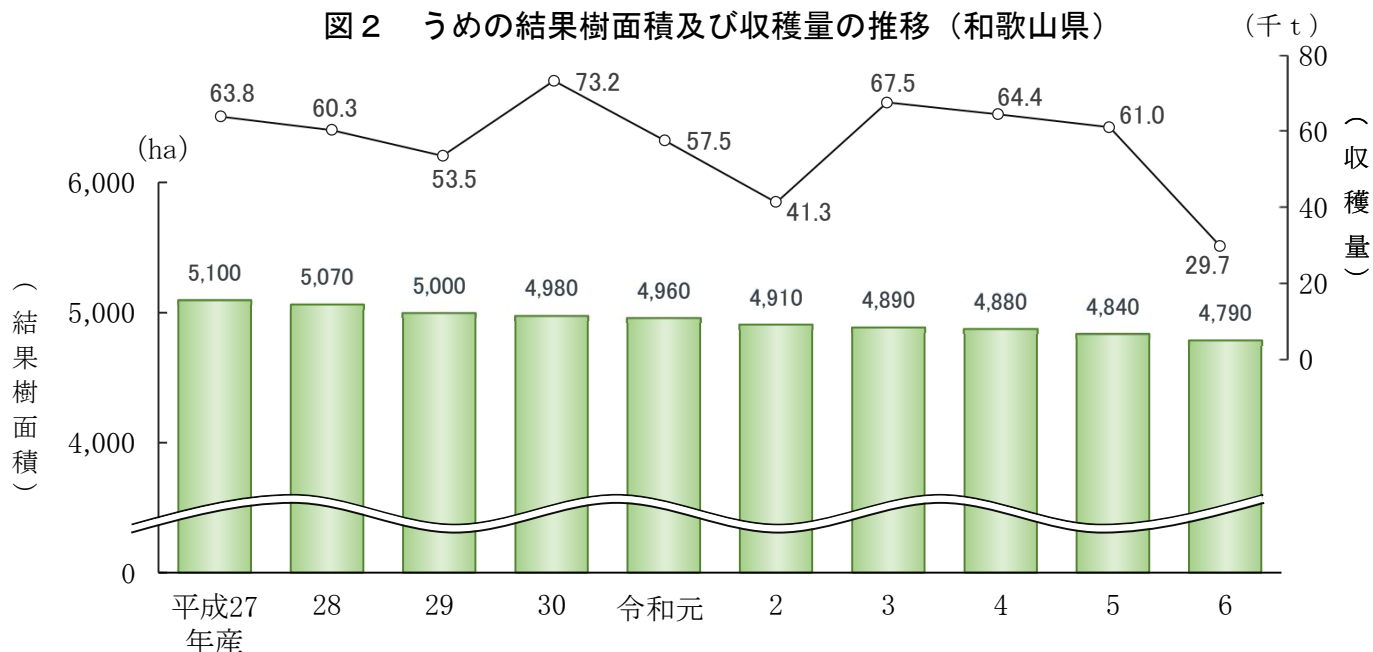


図2 うめの結果樹面積及び収穫量の推移 (和歌山県)



【用語の解説】

- 1 結果樹面積とは、栽培面積のうち、栽培農家が果実を収穫するために結実させた面積をいいます。
- 2 10 a 当たり収量とは、結果樹面積の10 a 当たりの収穫量をいいます。

$$(10 \text{ a 当たり収量 (kg)}) = \text{収穫量 (t)} \div \text{結果樹面積 (ha)} \times 100$$
- 3 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいいます。

＜参考1＞

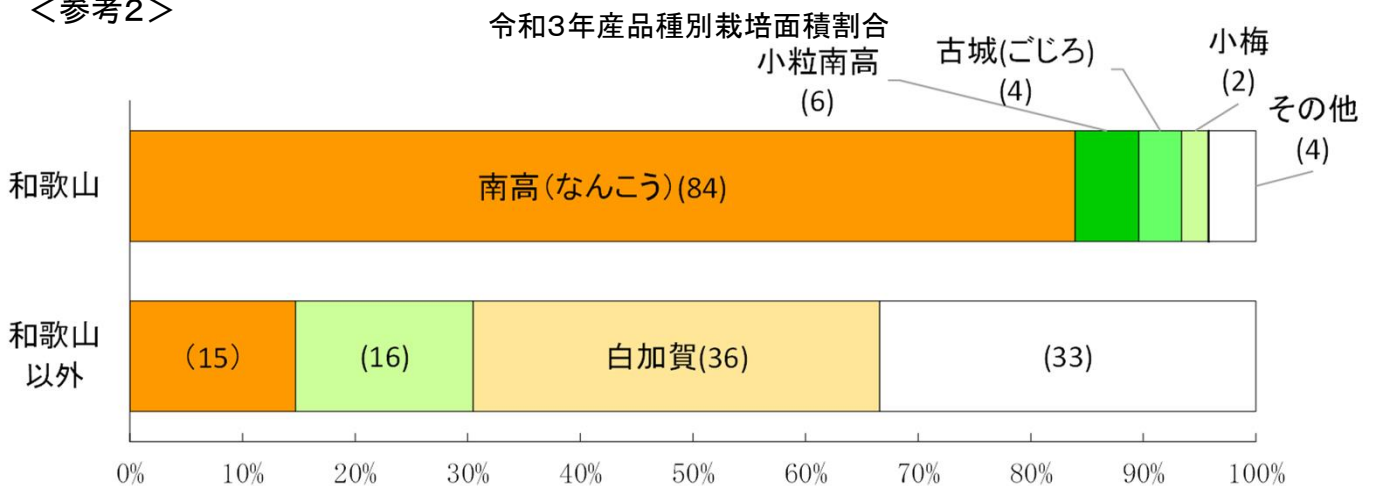
うめの生育ステージ(生育段階) 品種:南高(和歌山県 紀南地域)

開花期			生育期									収穫期		
▲			-----									▲ ———		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
6年1月	2月		3月		4月		5月		6月		7月			

※令和6年産について、JA紀南梅産地情報等を基に作成した。



＜参考2＞



資料:農林水産省農産局「特産果樹生産動態等調査」

本調査の詳細は、農林水産省ホームページからご覧いただけます。
[【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu 】](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu)

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」に掲載しています。
[【 https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/ 】](https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/)



お問合せ先

◎本統計調査の結果について
 近畿農政局統計部生産流通消費統計課
 電話：(直通) 075-414-9650

◎農林水産統計全般について
 近畿農政局統計部統計企画課
 電話：(直通) 075-414-9620



政府統計
 政府統計の総合窓口
 (e-Stat)
<https://www.e-stat.go.jp/>



2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)を下記の期間に実施します。

令和6年12月中旬～令和7年2月末 農林業経営体調査
 令和7年11月中旬～令和7年2月末 農山村地域調査(市区町村調査)
 令和7年10月上旬～令和7年12月末 農山村地域調査(農業集落調査)

